

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 総会・大会 参加報告

6月20日～21日、ホテル信濃路・長野市生涯学習センター（長野県）において全国聴覚障害者情報提供施設協議会（以下、全聴情協）総会及び第15回（通算27回）施設大会が開催されました。全国51施設や賛助会員より84名の参加があり、当センターより藤平施設長と壁下事務長が参加しました。



小中理事長の挨拶

未設立の北海道、鳥取県を除いた聴覚障害者情報提供施設の関係者が集い、さまざまな議論や、情報交換が行なわれました。

1日目の総会では2018年度事業報告・決算、2019年度事業計画・予算を審議。また、役員改選では、第2（北信越）ブロックより小中理事の退任に伴い、藤平施設長が理事に選ばれました。

施設大会では、「手話通訳派遣事業における客観的業務システムの課題と今後のありかたについて」をテーマにシンポジウムがありました。本名信行氏（青山学院大学名誉教授）の基調講演の後、塩野勝明氏（厚生労働省社会援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室室長補佐）、石野富志三郎氏（一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長）、近藤幸一氏（一般社団法人全国手話通訳問題研究会副会長）、太田裕之氏（全国聴覚障害者情報提供施設協議会理事）をシンポジストに迎え、テーマに関連する課題をそれぞれの立場からお話いただきました。その後、フロアを交えた意見交換が持たれました。

本名教授は「手話言語の法整備が進む中で、今後は手話通訳事業への民間よりの参入が予測されることから、派遣事業所の評価システムを立ち上げ、継続的な改善が求められる」とのこと。派遣事業所としての信頼度を高めるための「評価システム」構築の必要性、全通研が議論を進めている「手話通訳事業の業務評価基準」の内容、各事業所に対して自己評価の支援をおこなう「全国手話通訳派遣事業所評価等支援機構（仮称）」の設立に関する構想等を紹介されました。太田氏からは、全国の派遣事業形態がバラバラであること、香川県内において昼間に動ける手話通訳者は3名のみであり、通訳者のなり手不足と高齢化、現状の手話通訳養成システムの限界等を話されました。

2日目のブロック別会議では、9月に映像担当者とコーディネーターの研修を富山で行うことを確認しました。

今回の改選後の新理事の互選により、下の写真の三役が勇退し、新理事長には埼玉聴覚障害者情報センターの川津所長、副理事長には大阪・堺市視覚・聴覚障害者センターの井澤所長、事務局長には京都府聴覚言語障害センターの加藤所長が担うことになりました。

来年度の施設大会は、福岡県北九州市で開催予定です。



改選により、勇退した前三役

（左から小中前理事長・小野前副理事長・前田前事務局長）

〈令和元年度 スマホ教室 初級・中級講習会〉

石川県内在住の18歳以上で身体障害者手帳をお持ちの聴覚障害者を対象に以下の「スマホ教室」《初級・中級講習会》を開催します。参加希望の方は、QRコードからダウンロードして参照するか県聴覚障害者センターまでお問い合わせください。



受講スケジュール

いつ：令和元年11月2日（土）
（申込締切：2019年10月20日迄）

どこ：金沢歌劇座 第3会議室
（金沢市下本多町6番丁27番地・県福祉会館の正面です）

- ①午前の部（10時30分～12時00分）は初級講座（未体験・初心者の方へお勧めです。）
- ②午後の部（13時30分～15時00分）は中級講座（詳しく学びたい方へお勧めです。）

＜初級講座コース＞

1. 基本操作＜文字入力等＞
2. 基本アプリの紹介＜メール等＞
3. その他（個別相談など）

＜中級講座コース＞

1. 聴覚障害者に人気のアプリ
2. 格安スマホの長所と短所など
3. その他（最新情報）



※各コース定員25名。定員になり次第、受付を終了します。

令和元年度 石川県手話スペシャリスト研修事業

手話奉仕員指導者養成講座 ～入門編～のご案内

手話指導に携わるろう者・手話通訳者を対象とした標記講座を2日間にわたって開催します。対象となる方は案内チラシでお申込みください。県内全域からのご参加をお待ちしています。

日	時間	内容	会場
9月14日(土)	10:00～17:00	講義とワークショップ	県社会福祉会館 中ホール
9月16日(月・祝)	9:30～16:30	模擬講座	金沢歌劇座 第3・4会議室

【講師】小藺江 聡氏

【申込〆切】9月6日（木）【申込先】県聴覚障害者センターFAX：076-261-3021

センター人事のお知らせ



このたび、ひこたに彦谷職員が新しく入職いたしました。皆様、よろしくお願いいたします。

来年8月に開催されるサマーフォーラム in いしかわと講座の事務を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。 彦谷 いくみ



令和元年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会

6月22日(土)羽咋公民館において、標記講習会が開講しました。受講生11名が出席し、まず当法人の南武理事長が挨拶しました。

午前中は石川盲ろう者友の会会長の宮永聖明氏と通訳・介助員の楠本弘子氏が「盲ろう者概論・盲ろう者のコミュニケーション」をテーマに講義を行いました。

午後は「視覚障害の理解」、「聴覚障害の理解」をそれぞれ当事者が講義を行いました。

6月29日からはいよいよ盲ろう疑似体験や点字の基礎、コミュニケーション実習、移動介助実習などが始まりました。通訳介助の技術を身につけ、受講生全員が所定のカリキュラムを修了できるよう期待します。

(担当 長井)



視覚障害体験キット



試してみませんか？あなたのコミュニケーション能力！

第14回全国手話検定試験

受験申込み
切り迫る!!

試験実施日 5級・4級・・・10月12日(土)
3級・2級・・・10月13日(日)
準1級・1級・・・10月19日(土)

※準1級・1級を受験ご希望の方は、他県での受験となります。

- ◆申込み受付期間◆ 8月12日(月)消印有効
- ◆申込み方法◆ ①インターネット ②コンビニエンスストア端末機 ③郵送
いずれかの方法でお申込みください。
- ◆申込・問合せ先◆ 社会福祉法人 全国手話研修センター 全国手話検定試験事務局
〒616-8372 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

※資料はホームページから取り出すこともできます。 URL <http://www.com-sagano.com>

石川会場
(県社会福祉会館)では、
5級・4級・3級・2級
試験を実施します！

おすすめの
DVD作品

ビデオライブラリー

様々なジャンルの作品多数！
ぜひご活用ください

目撃者 f 戦地からの手紙 ～つながった愛のメッセージ～

ID: 4112

福岡市に住む伊藤博文さんは祖父半次さんが戦地から送り続けた絵手紙を受け継いだ。激戦のさなか妻に送った400通もの手紙から、家族への思い、平和の尊さを読み解く。

(製作:福岡放送/手話・字幕 DVD)

能登就労支援事業所

やなぎだハウスだより

やなぎだハウスは平成 29 年 8 月の開所から二年を迎えました。
これまでのみなさまからのご支援に感謝を申し上げます。
今後も引き続き、ご支援の程よろしくお願い致します。

9月1日の福祉大会時に、
やなぎだハウスコーナーにて
私のパネルを披露します。
よかったら見に来てね♪

オリジナルキャラクターです！！

七尾～穴水間を運行している、キャラクターのラッピングが施された電車をご存知でしょうか？
筆者がアニメオタクだというのも理由の一つですが・・・(笑) こういうキャラクターは最近の若者の間で大ブームになっているため、電車だけでなく警察署など様々な場所で採用されています。そうすることによって若年層だけでなく、様々な年齢層に興味を持ってもらい、「やなぎだハウスは、こういう可愛らしくて明るいイメージなんだ」という印象を持ってもらいたいと考え、やなぎだハウスのオリジナルキャラクターを開発いたしました。キャラクターの名前、デザインの由来については、次回にて発表です・・・。(沖田)

キャラ名・・・けやきちちゃん

レクリエーション ゲームで楽しく気持ちのリフレッシュ♪



坊主めぐりは、
みんな初めて・・・

負けた・・・
もう一回！



☆ボランティア募集中☆

短時間でも大丈夫です！
利用者の方と手話で
話してみませんか？